

ふれあい学習だより

芳賀教育事務所ふれあい学習課

とちぎの高校生「じぶん未来学」について

とちぎの高校生「じぶん未来学」は、平成28年度から栃木県内の県立高等学校、特別支援学校の高等部の生徒を対象に実施している、高校生が自分自身の将来を主体的に考えるプログラムです。

このプログラムを用い、やがて親となる世代である高校生が、親・家族・家庭などの意義や役割、地域の人間関係など地域社会について主体的に学びます。自立した大人になる過程にある高校生という時期に、自分自身と自分の将来について、そして、自分が属する家族・家庭などの意義や役割について考えることで、より豊かな人生を自らの手で築いていくことを図っています。



区分	視点	学習テーマ
自分	1 自分を考える	自分を見つめる ライフプランを考えるー豊かに生きるためにはー
家族・家庭	2 親を考える	親としての役割・責任 親となる意義
		3 子どもを考える
	4 家族を考える	
地域・社会	5 地域を考える	地域で子育てを支える 地域社会の人間関係と地域力
		6 社会を考える

本学習は、高校生が自分自身を考えるとともに、地域への愛着や定住意識の醸成を図ること、そして、地域を支え守る気持ちを育むことを意図して開発されました。

「じぶん未来学」は、左表のように6つの視点と、その視点を考える2つずつの学習テーマによる、計12のプログラムで構成されています。生徒は、在学中にこれらのプログラムを通して自分の将来や生き方について考え、豊かな人生のための学びを進めていきます。

このプログラムは、社会教育における参加体験型学習の手法を生かして進められます。高校生が自分の人生を「主体的」に考え、多くの人の意見を聞き、多様な考えに触れることで、自分の将来に希望を持って進んでいくことを願っています。インターネットで「栃木県 じぶん未来学」と検索すると、事業内容や各所での実施状況を閲覧できます。是非御覧いただき、本事業についての御理解を深めていただけますようお願いいたします。



茂木高等学校での学習の様子

研修報告

○家庭教育を考える研修会（10/12（木）真岡市民会館にて開催）

講話「子育てがもっと楽しくなる！魔法の言葉～子育てで一番大切なことは？」

講師：NHK「すくすく子育て」キャスター 天野 ひかり 氏

天野先生の講話は、御自身の子育ての実践例やワークショップを交えながら、終始和やかな雰囲気の中で行われました。参加者は、子どもの自己肯定感を高めるための会話のコツや、子どもを認める様々な「魔法の言葉」、効果的にコミュニケーションをとる方法などを学びました。



○社会教育主事ステップアップ研修（11/10（金）益子町中央公民館にて開催）

講話「今後の教育の方向と社会教育主事有資格者の果たすべき役割」

講師：（一社）とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏

廣瀬先生の講話では、主に県内外の様々な青年教育の事例を紹介していただきました。参加者は、地域に愛着を持ち、地域に戻ってくる子どもを育てることや、地域の役に立つ高校生を育成することが地方創生につながるなど、「まちづくりをする人材を育成する」大切さを学びました。



○芳賀地区ジュニアリーダー研修会（2/4（日）芳賀青年の家にて開催）

各市町のJLCに所属する高校生が、各市町の担当者の説明を聞きながら、野外調理やグループでの協議を交えて1年間のふり返しを行いました。

参加した高校生はすぐにうち解け、互いに交流を深めながら、熱心に活動に取り組みました。



○ふれあい学習ネットワーク（2/9（金）真岡市青年女性会館にて開催）

事例発表・インタビューフォーラム

発表者：宇都宮市立昇陽中学校長

樽井 久 氏

同校 地域協議会コーディネーター 齋藤 恵美子 氏

那須町立田代友愛小学校地域教育コーディネーター 金田 裕美子 氏

先進的な事例を実践している3人の方から、学校と地域が効果的につながるための取組や工夫について発表をしていただきました。参加者からも「参考になる事例があった」「自分の学校にも取り入れたい」などの意見が聞かれました。



後半は「学校と地域のネットワークをより深めるために」のテーマのもと、グループ協議を行いました。参加者同士が、情報交換を通じて学校と地域のつながりさらに広めたり深めたりする機会となりました。

ふれあい学習・生涯学習に関する情報、各種研修会の参加、研修プログラムの相談等、皆様からの御連絡をお待ちしております。

<芳賀教育事務所ふれあい学習課 TEL0285-82-3324>